

(以下バイノーラル)

あ……むつゝ
んつ、んつ……くふゝ

おぬひの、雄々しいものふお隠ひておふ、無粋(ぶすい)な布きれなひよ、わしの口で下げるやう
ひよゝ
んつ、んんう……んふゝ くふらふ

ほおれ……お主のマフが、ピノと外に飛び出してきてくれたぞ?くふ……ふふ
すんつ、すんつ、すんつ……すうー……ふう、はあーーー

硬くて、凜々しい……雄の匂いじやゝ

すうー……んう、はあーーー

……堪らぬのうゝ

お主が、ここに居(お)るといんなに濃く主張してくれておる
発情して雌を……ワシを、感じてくれておる、堪らぬ匂いじや……すうう

はあーーー

どうにも脣の下が、熱くなつて……疼いて、疼いて、この匂いだけで、ホトの奥から蜜が……出てき
てしまつておる。

なのに、小さな童(わらぐ)のように泣き出してもしまいそうじや。

お主がいるといんなに強く感じられて、はは……わしは、いんなんにも、人に飢えておつたんじやなあ。
……くふふゝ、お主のイチモツの匂いで、童にされてしまつというのは、なんとも妙な話ではある
のじやがな
すうう……はあーーー

くうー……おん

お主……主様(あるじさま)?

主様の匂いで、ワシはもう我慢が出来そうにないのじや。

ワシの中の雌の部分が疼いて、今すぐ……主様に奉仕をしろと訴えてきて適わん

……口と舌で、味あわせて貰うぞ?良いかの?

くうー……おん

ふふ、了承して頂けたのなら、ゆづくり味あわせて貰おうかの

ほれ、千鳥の曲(ちどりのきよく)じやゝ、もそつと体を横たえ、楽にせいゝ

ワシにお主のモノで、曲を奏でさせておくれ、の

はあーーー

鼻を……んつ、こうしてそそり立つてゐる部分に押し付けるだけで……酔いが強く

なつていくようじや

……では、頂かせて貰うぞ?

んつ……べろつ、ちゅつ……べろつ、べろつ、ちゅう……れろおー……ちゅうつ

くちゅ、ぴちゃや……れろお……んんつ

主様のものを、舌で舐めているだけで……んつ、れろお……ぴちゃや、くちゅ……ちゅつ、れろお

くちゅ……べろ、べろ……ちゅう、れろお……ちゅつ、ちゅつ……ちゅうつ

ちゅふつ……んつ

まだ、口の奥にも入れておらんのに、こつして……下から、んつ、ちゅう……れろおー、ぴちゃや、ぴ
ちや、ちゅうー……くちゅつ、れろおおつ

じゅるつ……んんつ

先走りが混じつた、主様の幹を舐めさせて頂いておるだけで、「んなになるとは……へふ
本当に、いやらしい匂いと味をさせる主様……じやつ

んつ、ちゅつ……れろお、くちゅ、ちゅつ、ピチヤ、ピチヤ……れろおおつ、ちゅつ、ちゅつ、ちゅううつ
ぼーっとしてへるんじやあ
くふつ……くうあおん

んつ……くふう

ちゅううつ……！ちゅぱり……ふうー

ワシの舌が触れておると、お主の……主様の先走りが、止め処なく鈴口から溢れてくれるのう♪
吸つても吸つても尽きぬ、銘酒(めいしゅ)のように……何処までも、ワシを酔わせてくれて……ふ
ふ、溢してしまうのが勿体ないのじや♪

どれ、余さず啜らせて頂くとするか。んつ、ちゅう……ちゅぶつ、ちゅつ、ちゅつ……じゅるうつ、
ちゅつ、ちゅうううつ

くひを、つけながら……ちゅうつ♪くちゅ、ちゅぶ……れろ、れろ、ちゅう

こうひで、おるほ……ちゅぶつ、ちゅう♪ずつほ、主さまのあじふあ、んんつ……じゅるつ

くひいつぱひに、広がる……のじやあ

あんつ♪じゅるう……ちゅぶ、ちゅつ、ちゅつ、れろおー……ちゅぶつ

んふうつ♪……こうひへ、鈴口から亀頭を舐めさせて貰つておふと、ふるふると主様のが震える

のふ(う)……んんつ、ちゅう、れろ、ちゅつ、ちゅつ……ちゅぶ

先っぽだけで、これでは……くふ

咥えなふあら、亀頭の溝や、筋を舐めさせて貰つたら、どうなつてしまふの、かのお……

ふふ、少し試させてもらふぞ……あるじひやまあ

ちゅばつ！……はあー

……案の定じや♪

大きく咥えて、口の中で舐めたら、より反応がようなりおつた

くふ♪ 主様の液も、心なしか濃くなつてきおつたのう……ふふふ

特にのう……このカリ首の裏とひやつ、んつ！ ピチヤつ、れろおー……ピチヤ、ピチヤ、ちゅうつ

汚れが溜まり易い／＼ふあ(せいか)、お主の味が濃くて……ワシは、好きぢやし♪ んちゅう、れ
ろおー、ちゅぶ、れろおー……ひちや、ひちや、じゅるうー……れろお、くちゅ、ちゅるうつ

じゅぶつ……んつ、ふつ

こいは、ほんに……れうれろ、ちゅぶ……くちゅ、れろおう♪ はんのうが、よいのう……んー、れ
ろおーつ♪

舌をの、こうひれ……寝めへ(すほめで)、ぐりぐり、抉つて……ちゅぶ、ちゅず、れるお……く
ちゅ?、れる、ちゅず^ハ◆
それはら、ぴちゃくちゅ……んつ、んれろおー……れる、れる、ぴちゃ、くちゅ、れる、ちゅず、く
ちゅぶう♪

ふうー…………、
主様の、滾る熱を教えてくれて、嬉しいのお…………くふつ
んへ、れろおー……ひぢやひぢや、くちゅ、れろおー……くちゅうつ
いっぱい、舐めさせて頂く、からのおんぶ、んつ、れちゅう、ずちゅう…………れろ、れろ、ひぢや、く
ちゅ、れろおー、ちゅつ、ちゅつ

んふう！？…………くふ、ふふう♥ くうやあ…………んう♥
主様の、この悪戯小僧め♥ お主のモノが大きく跳ねたせいで、ワシンの鼻にべつとりと主様の液が付
いてしもうたわ♥

ほんに、じんじん、じんじん濃くなつておるようじや
量も増えて、主様の欲情がしらーく、しらーく混ざり合つて……ワシの顔に色を塗つてござるのじや、
ふふっ♪ くらら……ああ、くやあああんつ♥

ゆるゆると主様を感じさせて貰いながら、ワシの口の中へ……たゞぶりと、雄の汁を注いで、満たして……頂かせて貰おう、かの♥
ワシもの……♥ もう、お主の欲(よく)交じりの先走りと、自分の涎で、口がとうとう溢れて、堪らぬのじゃい♥

ではのう、主様の子種を……味合わせて頂くからの♪
もう、出すまで口から放さぬから、我慢出来んようになつたら……ワシの○の欲しがりな口を、た
んまりと主様で満たしておくれ、のつ ♪ くおんつ ♪
んつ、あー……んむうつ ♪

ん——ちゅう、れちゅう——ちゅず、れちゅう——ずつ、ずつ、ちゅう——ぐちゅ、れろ
おー、ちゅつ、ずつ……れちゅう、ずるうー、ちゅつ、れろー、ちゅつ、ずちゅつ……れろおー、ん
ちゅうつ
んじゅ、ちゅづつ、あはあ

あるじさまほお、液が、どんどん口にたまつてくの、じやあ……
んちゅーーー、れちゅう、れろ……くちゅ、くちゅ、れろおー、ずちゅ、れろ、ちゅつ……に
ちや、くちゅつ、れろおーっ♪
ちゅぶつ、こうひれ、口にずうーと入れへほるとおつ

あむうつ♥ ちゅうー、れろ、れろれろれろれろれろ、ちゅう、じゅずずつ、れちゅーつ、ちゅず、
ちゅばつ、んつ……ちゅううつ♥
ぐちゅ……ちゅぶ♥ いうひれえ、じゅるうー……へちゅううつ♥
くひの中で、んじゅばつ……れろれろ、ちゅずずつ♥

舌も、つかまへて、いただくからのおつ ♡ れろおー、ずちゅばつ、れろおー……ずずつ ♡
ゆるゆるう……れちゅう、ちゅうー……ちゅばつ ♡
ねつとりとおー……ずずつ、ちゅうー……れちゅばつ、くちゅつ、んんつ ♡
なんどもお、なめて、啜るから、のおつ ♡
れちゅうー、ずずつ、ちゅうー、れろれろ、んちゅつ、ちゅばつうつ ♡
いはい、らひでえー……のおつ ♡ んんつ、んちゅ、はあーーーつ ♡
ずちゅ、れちゅう、ずずつ、ちゅうー、ちゅうー……れろお、れろお、ちゅず、ちゅずつ……ちゅず
ずううつ、くちゅ、ちゅばあつ ♡

んー……かーつ ♡

びくびくほ、どろどろが……うれしくて、たまらぬ、のじやあ ♡
あむうつ、ちゅうー、ずずつ、ちゅうーちゅうー、れちゅうー、ずずつ、くちゅつ、れろおー、ちゅつ、
ちゅつ、ずちゅううつ ♡
あるひさまあ ♡ んつ、ちゅう、れろおー、ずずつ ♡ れろ、れろ、ちゅうー……つ ♡
あるひさまあ ♡ んふうつ、んつ、ずずつ、ちゅず……ちゅずす、ちゅばつ、くちゅううつ ♡
はあー ♡ だひてえ……ちゅずつ、れろおー ♡ んちゅつ、だひてえー ♡
んんつ、ちゅず、ちゅぶつ……ちゅつ、れろおつ ♡
ワシをお、れろれれ、ちゅうー、ちゅずつ、れろおー、んんんつ ♡
いつはいに、ひれえーつ ♡
んちゅう、ちゅず、ちゅず、れろおー、くちゅつ、ずずつ、ちゅずうー……んつ ♡
ん一つ ♡ れろおー、ちゅずす、ずつ、ちゅばつ、ちゅうー……するるうつ ♡
ずつ、ずつ……ちゅ、ぶつ……ちゅうつ ♡ く、お……ふうつ ♡
れろー、れろー、ちゅずずつ、れろおー、ちゅうーちゅう、ちゅばつ、ぬちゅ、じゅ。ふ、じゅ。ふ、
ちゅうー、れろおー、ちゅずんつ……じゅるう、ちゅばつううううつ ♡
らのお ♡

《じくり……じくりー》 (射精の音)

ちゅずう、ちゅぶつ、んちゅうー……んんんんつ ♡
ちゅー……ちゅる、ちゅうー……んつ、ずるつ、ずす……ちゅぶ、ちゅぶつ ♡
んーふ…… ♡ んつ、ちゅううううー……ちゅぶつ、ずるつ ♡
ふつ……はあ ♡ あ……くう、あ……はあう、くやー……んんう ♡
くひのなかあ、はー…… ♡ いっぽひ、じやあ……あう、くちゅ、くちゅつ
はあー…… ♡ あるひさまあつ ♡ 一滴残らず、じびりついておつたのもお、全部吸わせて貰つたか
らのお ♡

ふふ……分かる、かのお？ んあーつ ♡
こんなひ、ワシの口があ、ぐちゅぐちゅ……子種汁で、いっぽいじや、よほお ♡
くちゅ、ぐちゅ、ぴちやぴちや……
んんつ ♡ 舌が、摇れると……零れてしまいそう、ひやあ ♡
ぐちゅぐちゅ、口が……妊娠でも、しようとしてほるようじや……くふうつ ♡
く、ふつ ♡ おかげで、くちゅくちゅ口で絡んで、うまく、しゃべれぬ……のお ♡
ふうー…… ♡ ……では、飲ませて頂くからのおつ、じゅ。ふ、
あるじさまのお、子種をお ♡ ワシの、なかひ……の ♡
んつ、じゅ。ふ……んくつ、くちゅ……んんつ ♡

「へへへ、へへへ、じゅるり……へへんの♥♥♥

んー……はああああつつ
くうやん……♥

喉に絡みながら、主様のどろびるの子種が、ワシの中に……入っていくのが、分かるのじやあふふ、飲み込んだの、分かるじやろう？
この辺りから、つー……と、胸の、ここの腹の場所まで、今お主のあついものが……といふと、
ワシを塗りながら、下つていておるよ♥
あはつ……これは、完全に、酔うてしまったのじや♥　へふ、ふふ……あ、はあ♥

くやあー……あるじさまあ♥　おぬしよお♥
ワシは、もう……まったく辛抱できんようになつてしまつたようじやよ♥
こんな、お主の味と熱を体に染みこまされて、我慢など出来るはずないじやろお♥
お願いやじや、後生(ご)しようじやよお……♥
もう、ワシのホトは……お主に目覚めさせられてしまつた雌はあつ♥
どうどろの口以上、濡れて、溢れて……淫水(いんすい)を滴らせて、尾まで濡れてしもうておるん
じや♥

《しゅる……ぱさわ》
(着物を脱ぎ捨てる音)

《くちゅ……くぱあつ♥》
(自分から、秘所を開く音)

「」じやあ……のお？
はしたなくて、情けなくて、ワシにそつくりで……自分で見せるのなんぞ、恥ずかしくて……憚れる(はばかれる)んじやが、んんつ♥
お主のお……主様の情けが欲しゅうて、もらえない方が辛い(つらい)と溢れて仕方ないんじやあお願いじやあ……、主様のマラを、雄を、精を……ここにいてくれておる証明をお♥
ワシのホトに……だらしなく蜜を垂らす雌に、お主を欲しがるこの……情けないナコの蜜壺(みつぼ)にもお子種を、注いで……欲しいんじやあ♥
くう、おー……んんうつ♥